



お茶の水女子大学 (東京都)

小規模大学の特性を生かし、きめ細やかな学習指導や支援が充実

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

1) 特色と歴史

お茶の水女子大学は、1875年、国によって設立された日本最初の女性のための高等教育機関「東京女子師範学校」を前身としています。

すべての女性がその年齢・国籍等にかかわらず、個々人の尊厳と権利を保障され、自由に己の資質能力を開発し、知的欲求の促すままに自己自身の学びを進化させることを支援することを使命としています。

日本における女性教育の先達である本学は、国際的状況の中で、政治、経済、学術、文化をはじめ各界のオピニオンリーダーとなりうる女性を育成するプログラムを世界に示しています。

本学では、小規模大学の特性を生かし、教員一人あたりの学生数が14.85人と少ない環境で、きめ細かな学習指導や支援を受けることができます。

また、1対1で個人チューターに学修や日本での生活について相談できるほか、レポートや論文などの日本語添削サポートも提供しています。

2) 学生数等 (2025年5月1日現在)

学 部：文教育学部、理学部、生活科学部、共創工学部

大学院：人間文化創成科学研究科

教員数：247名

学生数：学部生 正規2,079名、非正規114名
(正規14名、非正規58名)

大学院生 正規822名、非正規57名
(正規137名、非正規15名)

(注) カッコ内は留学生数

② 国際交流の実績

27の国・地域から224名の学部生、大学院生、研究生等が在籍し、勉学に励んでいます。

大学間交流協定校数：33ヶ国97校

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2025年：留学生数224人、日研生5人

2024年：留学生数220人、日研生7人

2023年：留学生数228人、日研生9人

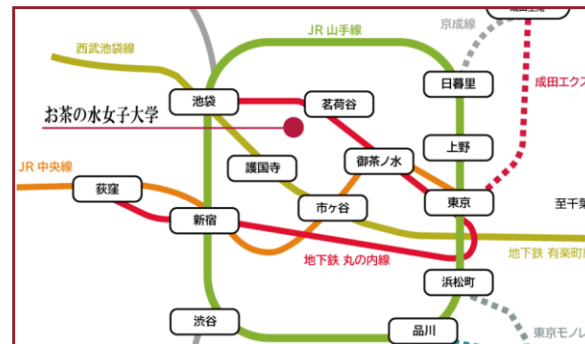
(注) 過去3年間、5月1日現在

日研生は当該年度10月受入数

④ 地域の特徴

文京区は、東京23区のほぼ中央に位置し、大学から池袋駅まで10分、東京駅まで20分で行けます。史跡や名所の多い歴史的な町であり、伝統的な大学や多くの学校のある町として知られています。

都内の主要駅へのアクセスが良い一方、みどり豊かで落ち着いた住環境は、都内でも屈指のものとされています。



■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修
日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語

能力の向上のための研修を行う。

② 研修・コースの特色

母国で基本的な日本語能力を習得した学生を対象とし、将来大学院で学ぶことも視野に入れて、アカデミックな日本語力の強化を行います。

日研生のみを対象としたオリエンテーション、週1回の特別クラス及び指導教員による定期的な面談など、きめ細かい指導が特色です。

③ 受入定員

12名 (大使館推薦6名、大学推薦6名)



④ 受講希望者の資格、条件等

成績優秀で、原則として日本語能力試験N2以上を保持している者。

⑤ 達成目標

1) 修了レポート完成

週1回の特別クラスで、1年かけて自身が興味を持つテーマについて学び、修了レポートを作成します。研究の立案から資料収集、分析方法や論文執筆という研究スキルを身につけることを目指します。アカデミックな日本語力と、研究に必要なリテラシー能力を伸ばします。自力で日本語の論文を理解し、専門的内容をアカデミックな文体で表現できるようになることが目標です。

2) 日本人学生と一緒の授業の履修

「日本語」「日本文化」いずれのコース希望も受け入れますが、専門的な「日本文化」については、日本人学生向けの科目で学ぶこととなります。（外国人留学生特別科目は、日本文化の基礎的な内容が中心です）留学生と日本人学生の両方を対象にした科目も開講されています。世界各国からの留学生や日本人学生と共に、日本語や日本文化、世界の諸問題について多様な視点から学びます。



⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2026年9月末頃～2027年8月31日
（在籍期間：2026年10月1日～2027年8月31日）
修了式は8月中旬を予定。※原則出席必須

⑦ 奨学金支給期間

2026年10月 ～ 2027年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

9月末頃～10月初旬： 渡日
10月： 授業開始・日研生オリエンテーション

11月： 大学祭
12月： ～～冬休み～～
1月： 日研生修了レポート中間発表会
2月： 授業終了（試験・レポート）
～～春休み～～
4月： 授業開始
7月： 日研生修了レポート報告会
授業終了（試験・レポート）
8月： 日研生修了式
8月下旬～8月末： 帰国

※この他、学生が企画する日研生旅行や、日本人学生と留学生が互いの言語や文化を教え合う言語交換プロジェクトもあります。

⑨ コースの修了要件

1) 日研生クラスへの出席（2回の発表会を含む）

2) 前期・後期それぞれにおける科目履修

前期（10月～3月）、後期（4月～8月）それぞれに週4日以上通学し、16単位相当以上（うち2単位相当は必修科目）の授業を選択・履修することが求められます。

3) 修了レポートの提出

研修終了時に修了レポートを提出します。そのために指導教員による個別指導も行われます。
※成績証明書が発行可能です。
※早期修了は、原則としてできません。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

小規模大学の特性を生かした、きめ細やかな学習指導や支援を行っています。指導教員による個別指導の機会が豊富に設けられており、授業内外での学修を全面的にサポートする体制になっています。各自が選んだテーマに沿って1年かけて修了研究を行います。修了研究の成果は、報告書にまとめます。発表会も2回行われます。

2) 研修・コース開設科目

1) 必須科目（1コマ、90分/週・アカデミック ジャパニーズ）

・日研生指導

週に一度日研生を対象としたクラスがあり、基本的なアカデミック・スタディ・スキルを学び、修了レポートの作成を目指します。

II) 選択科目（最低7コマ、10時間30分/週・内容は以下の通り）

・外国人留学生特別科目

日本語 I A/B～V A/B：（各学期5科目）

1科目（2単位）当たり22時間30分

総合的な日本語力を養います。少人数クラスが多く、発表やディスカッションの機会が豊富で、日本語の高い理解力と発信力が身につきます。

日本事情 I A/B ～V A/B（各学期5科目）

1科目（2単位）当たり22時間30分

日本の歴史・社会・文化について学びます。教室での学びだけでなく、東京の街に出て取り組む課題もあり、体験的に文化を理解できます。

上記とは別に、専門科目や特設日本語科目（会話、文法、読解、論文作法、漢字、日本語能力試験対策など）の授業も履修できます。少人数クラスであるため、発表の機会も多く、経験豊富な教師から丁寧なフィードバックを受けることができます。各自の学習段階に合わせて、確実にレベルアップする指導が受けられます。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

留学生向けの企画として、留学生と日本人学生との交流会、歌舞伎鑑賞教室、茶道教室、生け花教室、着付け教室等が実施されます。学内の附属小学校で児童生徒と交流する機会もあります。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

・日本人学生対象の一般科目

大学が提供する全科目の中から、各自の興味関心に合わせて授業を選択できます。一般科目を多く選択する留学生もいます。各自の希望に合わせた、自由な授業選択が可能です。

⑪ 指導体制

・指導教員

西坂祥平 准教授（専門分野：日本語教育学）

・留学生日本語学習支援・交流室

国際教育センターで学習支援を受けることができます。大学院生の先輩が日本語チェックや学習アドバイスをを行います。生活相談もできます。また、留学生のための交流企画も行っています。

・個人チューター

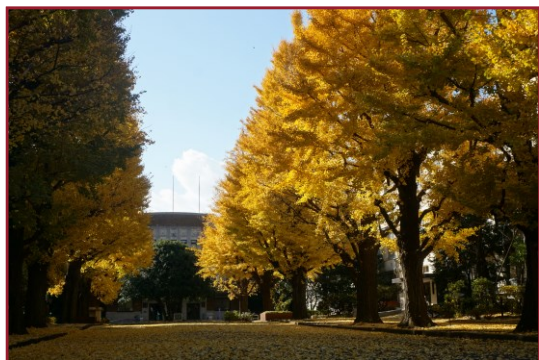
日研究生一人一人に個人チューターが付きます。お茶の水女子大学の学生が、来日時の手続き、日ごろの勉強や生活に関する相談など、日本での生活を安心して送るためのサポートをします。良い友人になり、学内外で一緒に時間を過ごすペアも少なくありません。



カフェテリア



図書館



本館前の銀杏並木

■宿 舎

名 称：音羽館(学生宿舎)
所 在 地：お茶の水女子大学キャンパス内
竣 工：2022年2月
食 堂：なし（学内の食堂は平日昼夜営業）
対象学生：学部学生や留学生の単身者など
入居一時金：31,680円
毎月の寮費：65,300円
（内訳：賃料48,800円、共益費6,000円、保険料500円、インターネット使用料1,100円、水道費1,500円・電気代5,000円、ガス代2,400円）
設 備：
・居室…14.5 m²（個室のみ）
洗面化粧台、ユニットシャワー、トイレ、ミニキッチン、冷蔵庫、エアコン、ベッド、机、衣類収納棚完備）
・共用部分…ラウンジ、宅配ボックス、ランドリー、談話室（学習室、各階に1室）、たたみの間、キッチンスタジオ、シアタールーム、ミーティングルーム、フィットネススタジオ

※入居一時金及び初月分の寮費について、クレジットカード払いによる前払いあり

※食事については、学内の食堂を利用する学生や、他の寮生と一緒に自炊を楽しむ学生もいます。



「安心・安全・快適」な音羽館の外観



←個室の間取り & パノラマ画像
360° ビュー
(室内が見られます。)

■修了生へのフォローアップ

本学での日研究生プログラム修了後、本学大学院(日本語教育、ジェンダー研究等)で学ぶために再来日する学生がほぼ毎年います。本学でさらに専門的な勉強をしようと、再来日を目指す修了生には帰国後も相談に乗るなど、積極的に支援しています。



■問合せ先

<担当部署>

お茶の水女子大学国際課留学生担当

住所：〒112-8610

東京都文京区大塚2-1-1

TEL：+81-3-5978-5143（直通）

FAX：+81-3-5978-5951

Email：ryunai@cc.ocha.ac.jp

<ウェブサイト>

お茶の水女子大学国際教育センター：

www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/

お茶の水女子大学留学生関連情報：

<https://www.ocha.ac.jp/intl/studyjp/index.html>